

授業概要

保育内容の研究（表現・造形）Ⅰでの学習を更に発展させ、幅広く造形活動に取り組む。子どもたちの造形表現活動に誠実に寄り添い、適切なかわり合いができるよう、様々な技法材料体験を重ねて、表現にかかわる展開と応用について学ぶ。また、表現の動機となる年間行事や季節感、伝承遊び、絵本の創作技法なども課題に取り入れ、柔軟な指導のあり方のかんがえていくよう指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	春の造形活動 ①壁面装飾 自己紹介の旗
第 3 回	春の造形活動 ②つながる迷路 色紙ランド
第 4 回	春の造形活動 ③こいのぼり
第 5 回	材料の比較研究 ①紙粘土、木粉粘土
第 6 回	材料の比較研究 ②線材料、針金、糸、ひも
第 7 回	材料の比較研究 ③和紙と墨
第 8 回	材料の比較研究 ④自然素材（木、石、土など）
第 9 回	遊びと工作 ①かざぐるま
第 10 回	遊びと工作 ②さいころパズル
第 11 回	夏の造形活動 ①花火大会（共同制作）準備と構想
第 12 回	夏の造形活動 ②作業の続き、仕上げ
第 13 回	絵本からの展開 ①オリジナル色紙作り
第 14 回	絵本からの展開 ②コラージュで折りたたみ絵本作り
第 15 回	絵本からの展開 ③作業の続き、完成まで
第 16 回	課題のまとめ、作品返却

到達目標

造形表現についての理解を深め、自身も創造的で自由な表現を楽しむことができること。実際に保育の現場での様々な場面での指導、援助に活かせる柔軟性と応用力を身につけることを目標とする。

履修上の注意

必要な画材、用具を用意するので、教材費¥1000が必要になります。各自、水彩絵の具一式のみ用意すること。（ポスターカラーなど手持ちのもので良い。）

予習・復習

基本的に授業時間内での作業とする。事前にアイデアを考えてくる、または遅れた作業を挽回するなどの指示をすることがある。

評価方法

授業に取り組む姿勢、課題作品の完成度と内容、出席状況、準備、後片付けを含めた総合評価。課題作品50%、平常点20%、まとめレポート30%。

テキスト

資料プリント配布。